

# 中京大学大学院 文学研究科 歴史文化専攻 修士課程

## 【2018年4月開設予定 届出書類提出中】

以下は2017年5月に確認できる内容を記述しており、今後変更がある場合があります

名称： 文学研究科歴史文化専攻  
課程： 修士課程  
取得学位： 修士（文学）  
設置場所： 名古屋キャンパス<愛知県名古屋市昭和区八事本町 101-2>  
入学定員： 3名

## どのような人材を養成するのか

歴史文化専攻修士課程では、日本の歴史文化に関する広範な専門知識及び史資料の読解力を有し、その知識・能力をもって史資料や史跡を今の時代に保存・管理・活用する者として、あるいは広く歴史や伝統を踏まえた地域社会の発展を推進する者として、博物館その他の社会教育、自治体史編纂、まちづくり、学校教育、出版、観光などの場において、指導的な立場で活躍できる人材を養成します。

## どのようなカリキュラムか

### ●カリキュラム編成について

授業科目は、「基盤」「専攻基礎」「専攻応用」「研究指導」の4つの科目群に区分されます。さらに、授業形態は、講義形式と演習形式に分かれます。

「基盤」「専攻基礎」科目は、基礎知識・基礎研究力を養うために置かれた講義形式の科目であり、研究活動のベースとなります。また、これらをベースとして、研究を応用・発展させるために、演習形式の「専攻応用」「研究指導」科目を置いています。

基盤・基礎・応用という一連の教育課程を確実にステップアップしていくことによって、修士論文の完成へとつなげていきます。

### ●7つの特色

- I. 古代史から近現代史まで切れ目のない科目の配置
- II. 近現代史科目を厚く配置
- III. 日本及び地域社会の伝統と文化に関する科目を配置
- IV. 本学が立地する東海地域の特性を重視
- V. 国際的な視野の醸成に配慮し、国際関係史科目を配置
- VI. 修了後の進路に配慮し、歴史資料（archives）の保存と活用に関する科目を配置
- VII. 歴史研究と歴史教育の連携に関する科目を配置

### ●授業科目一覧

基盤科目 【講義形式】	「研究者倫理」「修士論文作成の基礎」
専攻基礎科目 【講義形式】	「日本古代史特論」「日本中世史特論Ⅰ・同Ⅱ」「戦国・織豊期特論Ⅰ・同Ⅱ」「日本近世史特論Ⅰ・同Ⅱ」 「日本近現代史特論Ⅰ・同Ⅱ・同Ⅲ」「日本思想史特論Ⅰ・同Ⅱ」「地域社会の伝統と文化特論Ⅰ・同Ⅱ」 「日本史と国際環境特論」
専攻応用科目 【演習形式】	「日本古代史料研究」「日本中世史料研究Ⅰ・同Ⅱ」「戦国・織豊期史料研究Ⅰ・同Ⅱ」 「日本近世史料研究Ⅰ・同Ⅱ」「日本近現代史料研究Ⅰ・同Ⅱ・同Ⅲ」「日本思想史史料研究Ⅰ・同Ⅱ」 「地域社会の伝統と文化資料研究Ⅰ・同Ⅱ」「日本史と国際環境史料研究」「歴史研究と歴史教育」 「歴史資料の保存・活用研究Ⅰ・同Ⅱ」
研究指導科目 【演習形式】	「日本歴史文化特殊研究Ⅰ・同Ⅱ・同Ⅲ・同Ⅳ」

<修了要件>次の①②を満たすこと。

- ①基盤科目2単位、専攻基礎科目8単位以上、専攻応用科目8単位以上、研究指導科目8単位を含む、合計32単位以上を修得すること
- ②修士論文を提出し、その審査および最終試験に合格すること

## 教職専修免許状の取得について〈予定・教職課程申請中〉

高等学校地理歴史科または中学校社会科（あるいは両方）の1種免許状を取得している者は、「専攻基礎」と「専攻応用（「歴史資料の保存・活用研究1・同2」）を除く」の科目群から24単位以上修得した上で、歴史文化専攻修士課程を修了することで、1種免許状と同様の種類の専修免許状を取得することができる予定です（現在文部科学省に教職課程申請中）。

※「基盤」及び「研究指導」科目は専修免許取得要件の24単位に含まれません。

※「基盤」科目は2単位、「研究指導」科目8単位はいずれも必修であるため、専修免許を取得し本課程修了をするには、上記24単位以上を合わせた、34単位以上の修得が必要となります。

## 入試について

### アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）

本専攻は、文献史学又は民俗学の方法を用いて日本の歴史文化研究を志し、以下の要件を備えた学生を受け入れる。

- ・現代の人間社会が直面する課題について、広く関心を有している。
- ・闊達な議論を経ることによってみずから成長させていく自覚と、そのためのコミュニケーション能力を有している。
- ・研究について明確なテーマと計画を有し、研究しようとする事象について、日本の歴史文化の中に位置付けながら研究意義を説明できる。
- ・研究しようとする時代や分野を中心に、日本の歴史文化全体に及ぶ基本的知識を有している。
- ・歴史資料を読み解くことを喜びとし、それを歴史研究に活用するための基本的な技能と知識を有している。
- ・日本の歴史文化に関する専門知識を生かして社会に貢献する意欲を有している。

**\* 以下は 2018 年度入試の内容であり、2019 年度以降の入試において出願資格等を変更する場合があります。**

以下の4つの選抜方式を設け、年2回実施します（前期日程・後期日程）。詳細は『中京大学 2018 年度春学期入学大学院入学試験要項』（配付中）を参照してください。

前期日程 出願期間：2017年8月30日（水）～9月8日（金） 試験日：9月30日（土） 合否通知発送日：10月10日（火）  
後期日程 出願期間：2018年1月22日（月）～2月1日（木） 試験日：2月16日（金） 合否通知発送日：2月27日（火）

### 【一般選抜】

学外・学内からの進学希望者を広く受け入れるために実施する選抜方式です。

試験科目⇒筆記試験（「専門科目」及び「英語又は古文書（くずし字）読解」）、口頭試問

### 【社会人選抜】

本専攻が定める社会人の定義（以下）にかなった進学希望者に対して行う選抜方式です。

※社会人の定義…入学時において大学卒業後7年以上経過した者。なお、職歴の有無や内容は問いません。

試験科目：筆記試験（「専門科目」）、口頭試問

### 【留学生選抜】

外国人留学生に対して行う選抜方式であり、社会人選抜と同様の試験科目を課します。

### 【学内特別選抜】

本学文学部歴史文化学科4年次に在籍する学生で、3年次終了までに100単位以上修得の上、成績上位3分の1以内又はGPAが2.7以上の学業成績が優秀な者に対して行う選抜方式です。

試験科目：口頭試問

## 学費等について（予定）

内訳	一般		中京大学卒業生		外国人留学生			
	年額	入学時納付金	年額	入学時納付金	中京大学卒業生以外		中京大学卒業生	
					年額	入学時納付金	年額	入学時納付金
入学金	200,000	200,000	20,000	20,000	200,000	200,000	20,000	20,000
授業料	440,000	220,000	440,000	220,000	308,000	154,000	308,000	154,000
教育充実費	200,000	100,000	150,000	50,000	200,000	100,000	150,000	50,000
学会費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
合計	841,000	521,000	611,000	291,000	709,000	455,000	479,000	225,000

単位：円

※本学学部からの修士課程入学者は、入学金が20,000円、教育充実費が入学時のみ半額となる。

※2年次の納付金は、授業料及び教育充実費は1年次と同額となる。

※外国人留学生の授業料は、入学後2年間、3割減免措置を適用する。

※納付金は、春・秋学期の2回に分けて納入。入学年度の春学期分は「入学時納付金」となる。

### 〈文学研究科歴史文化専攻修士課程に関する問い合わせ先〉

中京大学教育学部大学院事務課 TEL：052-835-9863（直） E-mail gs-office@mng.chukyo-u.ac.jp

愛知県名古屋市昭和区八事本町101-2 名古屋キャンパス14号館1階